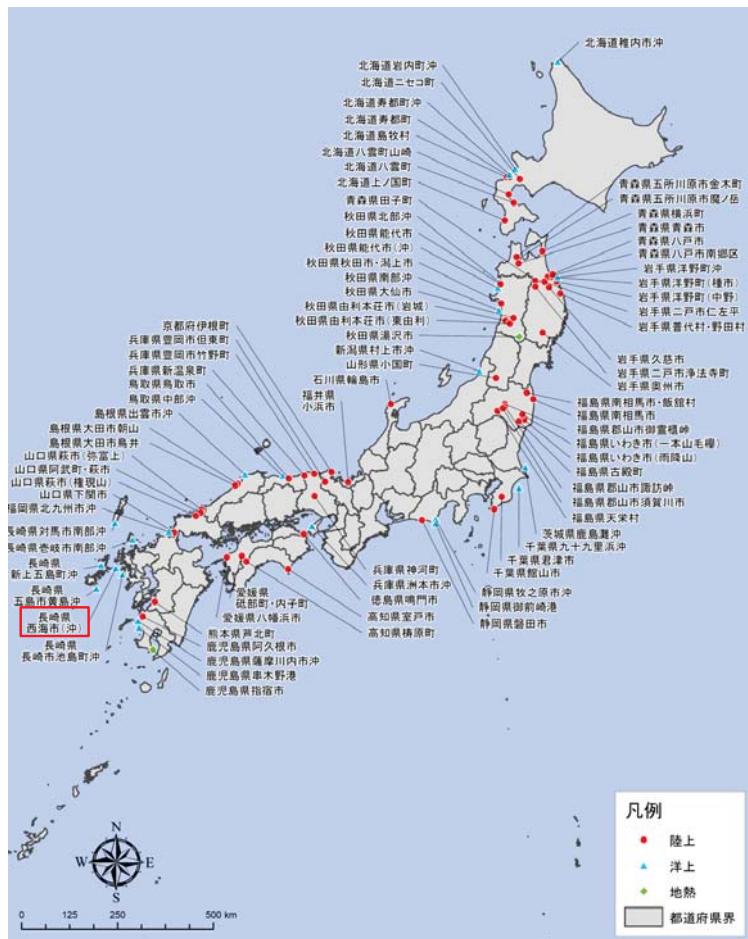


# 風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業 長崎県西海市情報整備モデル地区調査の概要



## 1. モデル事業実施地区



### 情報整備モデル地区の選定状況

環境省選定地区 (H24~H25)		自治体公募による選定地区 (H25~H27)		H26追加選定		H27		H27追加選定	
選定年度	地区名	選定年度	地区名	選定年度	地区名	選定年度	地区名	選定年度	地区名
H24	北海道	H25	北海道	H26	北海道	H27	北海道	H27	北海道
青森県	八戸市	青森市	八戸市	二七町	八戸市	岩手県	二戸市	二戸市	岩手県
秋田県	大館市	横手市	大館市	五所川原市	大館市	山形県	鶴岡市	山形市	山形県
宮城県	仙台市	仙台市	仙台市	酒田市	仙台市	福島県	郡山市	郡山市	福島県
福島県	いわき市	いわき市	いわき市	喜多方市	いわき市	福島県	福島市	福島市	福島県
新潟県	柏崎市	柏崎市	柏崎市	柏崎市	柏崎市	新潟県	新潟市	新潟市	新潟県
長野県	飯田市	飯田市	飯田市	飯田市	飯田市	長野県	長野市	長野市	長野県
岐阜県	各務原市	各務原市	各務原市	御器所市	各務原市	岐阜県	岐阜市	岐阜市	岐阜県
愛知県	豊橋市	豊橋市	豊橋市	豊橋市	豊橋市	愛知県	豊橋市	豊橋市	愛知県
三重県	桑名市	桑名市	桑名市	桑名市	桑名市	三重県	四日市市	四日市市	三重県
滋賀県	守山市	守山市	守山市	守山市	守山市	滋賀県	守山市	守山市	滋賀県
京都府	京都市	京都市	京都市	京都市	京都市	京都府	伏見区	伏見区	京都府
大阪府	泉佐野市	泉佐野市	泉佐野市	泉佐野市	泉佐野市	大阪府	堺市	堺市	大阪府
兵庫県	神戸市	神戸市	神戸市	神戸市	神戸市	兵庫県	尼崎市	尼崎市	兵庫県
奈良県	生駒市	生駒市	生駒市	生駒市	生駒市	奈良県	橿原市	橿原市	奈良県
和歌県	和歌山市	和歌山市	和歌山市	和歌山市	和歌山市	和歌県	和歌山市	和歌山市	和歌県
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島市	鹿児島市	鹿児島市	鹿児島市	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島市	鹿児島県
沖縄県	那覇市	那覇市	那覇市	那覇市	那覇市	沖縄県	那覇市	那覇市	沖縄県
注：準備中、調査中の地区を含む									
想定事業		調査面積							
陸上風力		443 km <sup>2</sup>							
洋上風力		5,680 km <sup>2</sup>							
地熱		4 km <sup>2</sup>							

平成27年度までに86地区(洋上25、陸上59、地熱2)で事業を実施

## 2. 対象事業実施区域の概要

### 2.1 対象モデル地区の概要

#### ■対象モデル地区位置

長崎県西海市(右図赤枠内)

#### ■調査期間

平成25年8月～平成26年3月

#### ■調査範囲

約41,000ha

#### ■水深

0～約55m



### 2.2 対象モデル地区の地域特性

#### 自然的条件

##### ①海底地形・底質

- ・水深は25mまでは急深であり、25m～50mの範囲が調査地域の広範囲を占める。
- ・底質は島の周囲は「岩」、それ以外には「砂礫」が分布する。
- ・調査地域には有人島の「江島」の他、大立島、小立島などの島嶼や干出が点在する。

##### ②気象・海象

- ・対馬暖流の影響を受け、比較的温暖である。
- ・秋季から冬季は強い季節風が吹き、海は時化る日が多い。

#### 社会的条件

##### ①土地利用

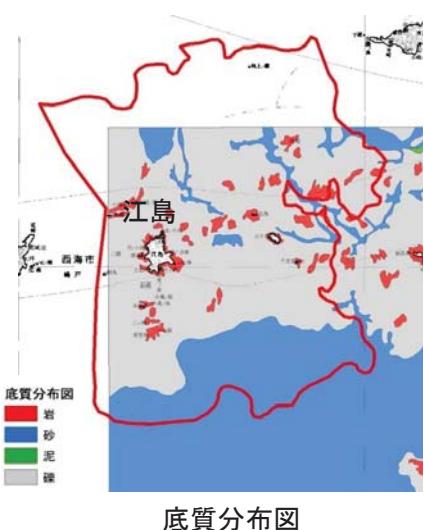
- ・「江島」の大部分は山地で、集落は海岸近くに点在する。

##### ②交通の状況

- ・佐世保、崎戸と江島、平島、新上五島を結ぶ1日1便の定期フェリーが運航。崎戸・江島間約20kmは漁船で約40分。

##### ③人口・産業

- ・「江島」の人口は171人(H24.10.1)、主要産業は漁業。



絶景の崎戸岬



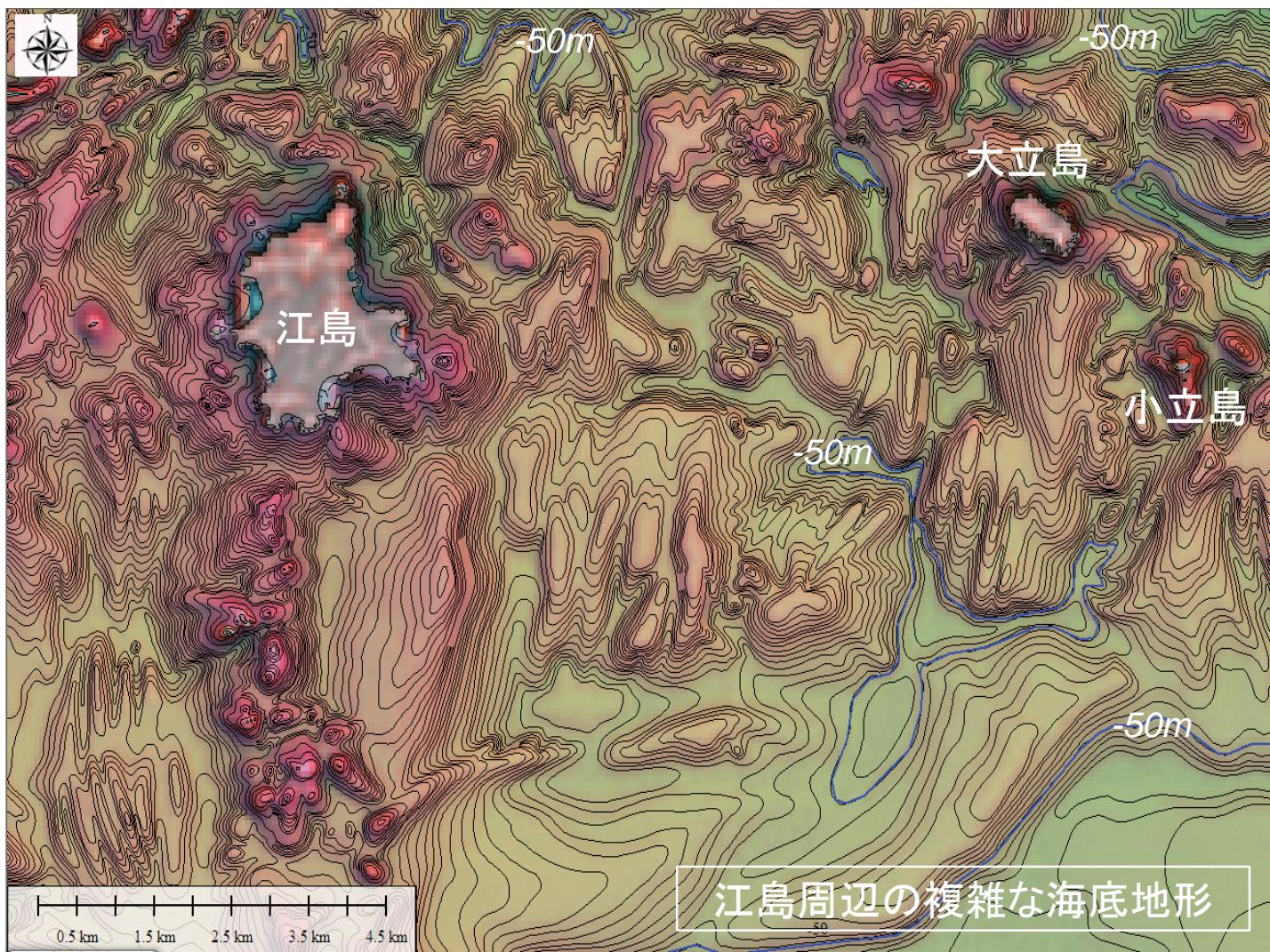
南方系の植物が多い小立島・大立島



特産のイセエビ



江島東部の砂丘植生



### 3. 調査結果の概要

#### 3.1 地域文献調査の結果

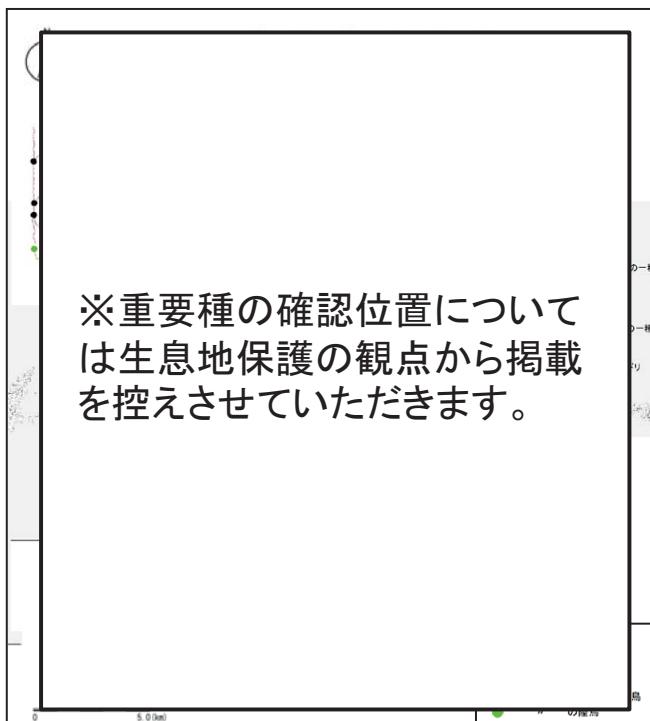
環境要素	調査結果概要
鳥類	重要種はクロサギ、ウミスズメなど79種の記録。
昆虫類	重要種はベッコウトンボなど16種の記録。
植物	重要種はチョウセンノギク、イトラッキョウなど3種の記録。
海棲哺乳類	8種の海棲哺乳類を記録。重要種は文献調査範囲外の周辺でザトウクジラ、マダライルカ、スナメリ3種の記録。
海棲爬虫類	文献調査範囲外の周辺でアカウミガメ1種の記録。
魚類	85種を記録。重要種は文献調査範囲外の周辺でゴマハゼ1種の記録。
底生動物	231種を記録。重要種はアコヤガイ、アカウニなど15種の記録。
海草藻類	37種を記録。重要種は平島でトサカノリ1種の記録。

7

#### 3.2 現地調査の結果

##### (1) 鳥類(洋上センサス)

- 回数: 5回(9月~2月)
- 方法: 2km間隔の測線を航行し、目視による調査



8

・確認種数: 10目16科25

・重要種: 9種

カンムリカツブリ、オオハム、ヒメウ、ウミスズメ、カンムリウミスズメ、ミサゴ、ハチクマ、  
ハヤブサ、コシアカツバメ



9

## (2) 鳥類(陸上スポットセンサス)

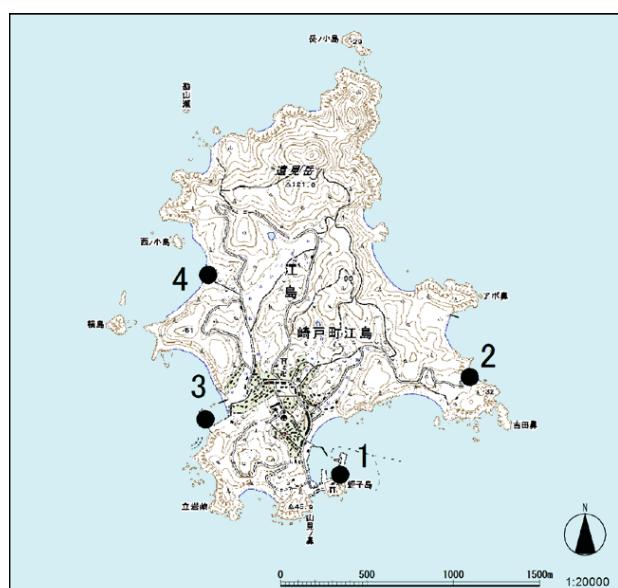
・回数: 5回(9月~2月)

・方法: 江島の4地点で午前中に目視による調査

・確認種数: 10目24科44種

・重要種: 10種

ウミアイサ、カラスバト、ヒメウ、クロサギ、ナベツル、コチドリ、キアシシギ、ミサゴ、  
ハイタカ、ハヤブサ



10

### (3) 海棲哺乳類

- 回数:2回(9月、2月)
- 方法:2km間隔の測線を航行し、曳航式の音響調査を実施
- 海棲哺乳類は確認されなかった。また、ヒアリング調査でも、「海棲哺乳類はたまに見かける程度」であった。**



11

### (4) 生態系

- 回数:1回(11月)
- 方法:沿岸12地点(水深15m以浅)でダイバーによる観察を行った



12

**植物:**アラメ・ホンダワラ・アマモ類の大型海藻は観察されず、有節サンゴ藻、マクサ、ユカリ、キントキ、アヤニシキなどの小型海藻を少量観察

**底生動物:**イシサンゴ類、ムラサキウニ、タワシウニ、アオスジガンガゼ、ウミトサカ、サンゴイソギンチャクなどを観察

**魚類:**キビナゴ、メジナ、イトヒキベラの群が多くの地点で出現した他、マダイ、クロダイや岩礁域に生息するカサゴや、**藻食性のノトイヌズミやアイゴを観察**



有節サンゴモ



ウチワサボテシグサ



アヤニシキ



キビナゴ

黒島(No.5)



オオサンゴイソギンチャク

金頭ノ瀬(No.7)



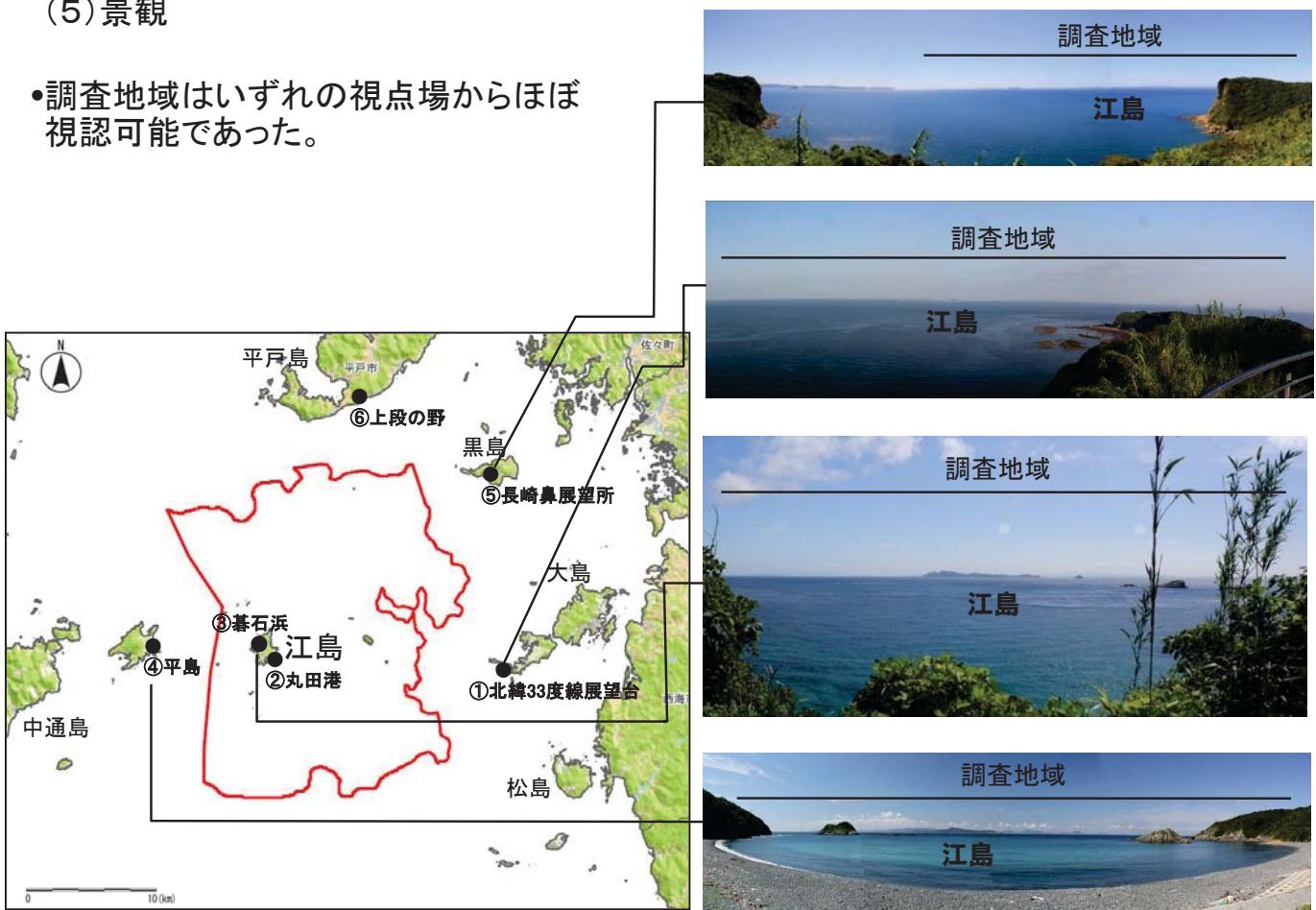
カサゴ

西ノ浦漁港(No.11)

13

## (5) 景観

調査地域はいずれの視点場からほぼ  
視認可能であった。



## まとめ(自然環境)

### 4.1 自然環境に関する特記事項

・調査地域内は重要な生物や重要な生態系のまとまりの場が少ないものの、水域はアジ・キビナゴ漁や特産のイセエビ漁など、漁業活動にとって重要な場所となっている。

・水深0～25m程度までの岩礁域には小型海藻が繁茂して、それを摂取したり、産卵場や稚魚の生育場として利用する魚類や底生生物が多数生息する場となっている。



イセエビ



小型海藻(イセエビ幼生の着生基盤となる)

15

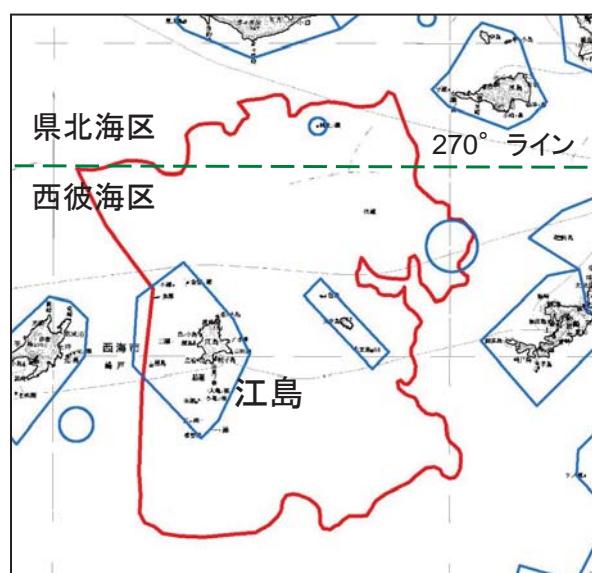
## まとめ(社会環境)

### 4.2 社会環境に関する特記事項

・調査地域ではほぼ全域で通年にわたり漁業が行われており、沿岸部には共同漁業権が設定されている。

・佐世保市の高後崎から西270° のラインを境に北側は県北海区、南側は西彼海区で海区が分かれている。

・事業実施の場合にその範囲が共同漁業権内であれば、共同漁業権を持つ漁業協同組合と。共同漁業権範囲外であれば、各海区に所属する複数の漁業協同組合との協議が必要。



— 共同漁業権

16

## まとめ(社会環境)

・長崎県では、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、世界遺産登録を進めている。

・調査地域及びその周辺内には黒島天主堂と頭ヶ島天主堂が含まれており、事業実施にあたっては景観に与える影響などに対して十分な配慮が必要。

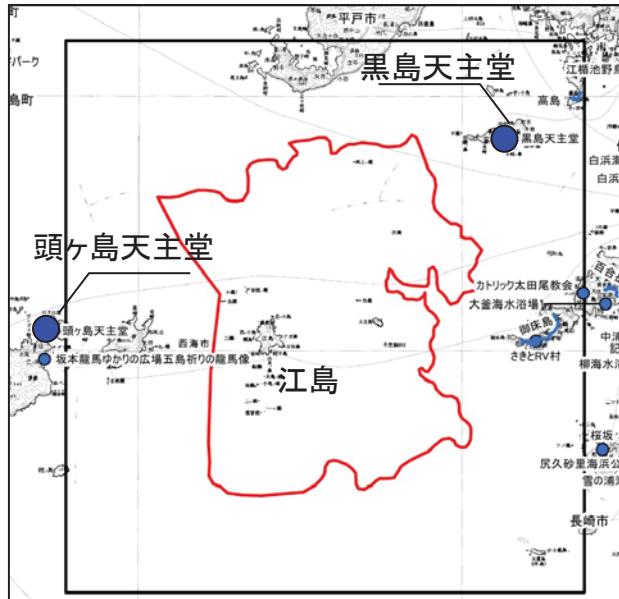


写真:長崎の教会群インフォメーションセンター

17



千葉県銚子市沖洋上風車

18